

## 周りの人はどうしている？

## 村田第一中学校 阿部功二 校長の取り組み！

Q. 先生自身がお酒を飲むときに気を付けていることを教えてください。

阿部校長 晩酌をする父親を見ていたので、「大人になったら自分も」と思っていました。ビールと焼酎を適量にとどめ、早めに寝ています。

Q. 未成年の飲酒についてのどのように感じていますか。

阿部校長 昔は大人をまねて、飲酒や喫煙等の問題を起こす生徒がいました。今は飲酒・喫煙・シンナーなどの問題は見られません。

Q. 生徒に対して飲酒に関する情報を伝える機会はありますか。

阿部校長 薬物乱用防止の授業の中で、飲酒の害を伝えています。

Q. 未成年の飲酒、アルコール依存症を防ぐためにできることとはどんなことですか。

阿部校長 子ども自身、「ダメなものはダメ」とわかっています。会話がある家庭で育った子は曲がりません。家庭に会話があること。子どもと話せる関係があれば、悪いことに手を出しません。子どもの行動には、育ちや家庭の居心地が影響します。家庭は『安心できる場』であってほしい。一中では、行事などの様子を撮影し、保護者にDVDを貸出しています。それを見ることは、子どもが主役になり、家庭で語り合い一緒に笑う時間につながります。笑い合った経験は、うまくいかないときに思い出され、失敗を乗り越えるための力になっていきます。



## 村田町民の未成年の飲酒に対する考え

未成年の飲酒について どう思いますか？ (健康むらた 21 計画中間評価の ための中間アンケートより)		男性	女性
	場合によってかまわない	26.6%	21.2%
	別にかまわない	12.0%	5.3%
	計 (未成年の飲酒を容認)	38.6%	26.5%



### (健康むらた！ 問題飲酒を防ぐために！)

急性アルコール中毒やアルコール依存症、脳の萎縮や二次性徴の遅れにつながる危険が高く、未成年の飲酒は法律で禁止されています。全国的に若者の飲酒は減少傾向ですが、若い女性の飲酒率はあまり減少しておらず、女性の飲酒が問題になりつつあります。

#### 【アルコール依存症】

15歳以下から飲酒した場合、21歳以上から飲み始めた場合と比べて、依存症になる確率が3倍以上になるという調査結果があり、未成年の飲酒はアルコール依存症の危険を高めます。未成年から飲酒した人は、依存症の治療をして効果が得られにくく、死亡率は9%と高くなります。

これ以外にも脳の萎縮や二次性徴の遅れにつながる可能性を高めます。

#### 【急性アルコール中毒】

アルコール中毒は、運動失調や嘔吐を伴った意識障害が起こり、生命に危険が迫った状態のことです。

若者に急性アルコール中毒が多い理由は、

- ① 脳がお酒に慣れていない
- ② 危険な飲み方を好むためです。

イッキ飲みをしない、させない心がけや取り組みを続けることが大切です。



### 未成年の飲酒を防ぐために『大人ができること』

- 未成年者の飲酒は、認めない
- 未成年者に、飲酒を勧めない。勧められているのを見たら止める
- 家庭での会話や笑顔を大切にして、いつもと違う様子に気づいたら声をかける